



田中 琴音 (タナカ コトネ)
千葉県立市川工業高等学校 建築科

ふなばしケイバみんなのケイバ

船橋市にある「船橋競馬場」は、ららぽーとやIKEAなどの大型商業施設に隣接し、多くの人が集まる場所に立地している。レースが開催されるのは月一週間程度である。しかし、良好な環境があるにもかかわらず、うまく活用されていない場所でもある。

本設計では、競馬場の中に引き込むための建築を設計する。エントランス棟と観覧棟の二つを設計することで、敷地全体を市民に開かれた広場となる。

「船橋競馬場」が「みんなの船橋競馬場」に変化する。

他の出展者が、まっ更な土地に思い思いの夢を目一杯詰め込んだ提案をしている中、既存の施設や周辺環境を考察し、そこから問題点を発見し、その問題へ果敢に挑戦でいった姿勢をまず評価したい。また、その挑戦は、他の作品にも劣らず、夢がたくさん詰まったものであったように感じた。そして、建築そのものの設計にも丁寧に向き合うだけでなく、敷地全体のランドスケープが、周辺環境もきちんと考慮した上で提案されていた点も素晴らしい。都市スケールで俯瞰して見た大きなスケールから、利用者目線の小さなスケールまで、色々な視点での気づきが設計に反映されているところも魅力的だっ

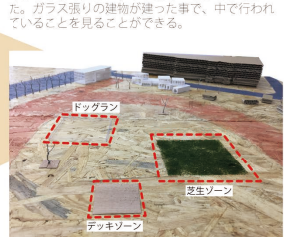
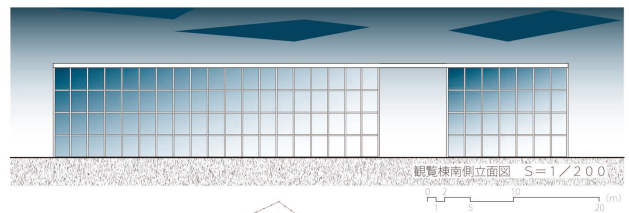
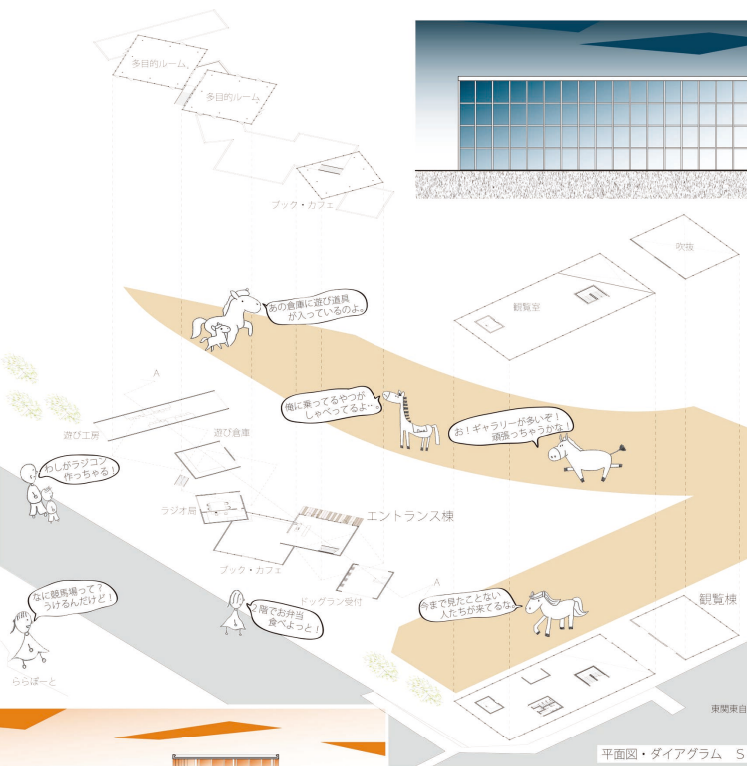
た。高校生の作品とは思えない、ロジカルさと遊び心を併せ持った、非常にクオリティの高い提案だったように思う。そして何より、自分の提案に自信をもって、楽しそうにプレゼンテーションする作者の姿に感銘を受け、引き込まれてしまった。提案の魅力をより多くの人に伝えるために、模型やイメージパースなどのプレゼンテーションの表現に、さらに磨きがかかっていくことに期待したい。



審査員：西山 芽衣

ふなばしケイバみんなのケイバ

船橋市にある「船橋競馬場」は、ららぽーとやIKEAなどの大型商業施設に隣接し、多くの人が集まる場所に立地している。レースが開催されるのは月一週間程度である。良好な環境があるにもかかわらず、うまく活用されていない場所でもある。本設計では、競馬場の中に引き込むための建築を設計する。エントランス棟と観覧棟の二つを設計することで、敷地全体を市民に開かれた広場となる。「船橋競馬場」が「みんなの船橋競馬場」に変化する。



レース休催日には、競馬場から広場へと変化する。広場には、様々な活動を誘発する場所が存在する。

